

記載例

別記様式第4号(表) (第23関係)

① 年 月 日

② 消防署長 殿

住 所

申告者 職業(職) ③ 電話

氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	④ 年 月 日	り災物件と申告者との関係	⑤所有者・管理者・占有者	
	り災場所	⑥			
2	建築・購入年月 推定・記録・記憶		建築又は購入金額 推定・記録・記憶・不明		
	年 月	1㎡当たりの金額(円)		総金額(円)	
3	取得後の経過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所	修繕・改築に要した金額(円)	
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(㎡)	増築に要した金額(円)
		年 月			
4	り災前の建物詳細				
	建物の用途	屋根	外壁	階数	延べ面積(㎡)
	居住世帯数	世帯	居住人員	人	
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
6	火災保険の契約				
	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)		

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

【不動産り災申告書記入要領】

- ① 申告日（提出日）を記載する。
- ② 管轄消防署名を記載する。 [（管轄消防署検索についてはこちら）](#)
- ③ 申告者の住所、職業（又は役職名）、氏名及び電話番号を記載する。
- ④ 火災があった年月日を記載する。
- ⑤ り災物件と申告者との関係について当てはまるものを○で囲む。
- ⑥ り災場所の所在を記載する。
- ⑦ 建築・購入の状況について下記により記載する。
 - (1) 建築又は購入の別について当てはまるものを○で囲む。
 - (2) 記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものか、推定によるものかなど、当てはまるものを○で囲む。
 - (3) 建築・購入した年月を記載する。
 - (4) 建物を取得した当時の土地の価格を除いた1・当たりの金額と総金額を円単位で記載する。
- ⑧ 建物取得後の経過について下記により記載する。
 - (1) 修繕・改築した場合は当てはまるものを○で囲み、例を参考に年月、箇所及び要した当時の金額を記載する。

例)

	年月	修繕した箇所	要した金額
改築	平成2年8月	1階事務所部分 30・	3,532,500円

- (2) 増築した場合は増築年月、概要、面積及び要した当時の金額を記載する。

例)

	年月	修繕した箇所	要した金額
増築	昭和59年4月	2階住宅 20・	1,520,000円

- ⑨ り災前の建物の詳細について下記により記載する。
 - (1) 例を参考に建物の用途、屋根、外壁、階数及び延べ面積を記載する。

例)

用途	屋根	外壁	階数	延べ面積
住宅	日本瓦	モルタル	2階建て	75・
店舗・住宅	亜鉛鋼板	石綿セメント板	3階建て	135・

- (2) 居住世帯数・居住人員は建物内全てに居住する世帯と人員を記載する。

- ⑩ 建物・収容物以外に庭木類や塀などがり災した場合は下記により、り災別の当てはまるものを○で囲み、物件名等を記載する。

焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど

爆：爆発により、壊れたものなど

他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す際に壊れたものなど

- ⑪ 加入している火災保険について契約会社別に万円単位で記載する。